

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2005年度	開講年次	4年次
開講学期	7、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	6
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	各教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
tkoba@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
今までは講義を聴き、演習で電子工学科の諸科目を学習してきたが、これらの学力を基礎に、電子工学にかかわる諸問題を教官の指導のもとに学生自ら能動的に解き明かす。これにより、問題解決の手法を習得すると共に、基礎科目、専門科目に関する理解を深める。

【前もって履修しておくべき科目】
卒業研究着手の条件を満足していること。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
4年の必修科目の単位を取得すれば卒業できる状態であることが望ましい。

【教科書等】
超伝導デバイス関係の本と文献による。

【授業内容とその進め方】
各研究室に所属し、指導教官の指導の基に毎日研究を行う。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

1年間かけて行った卒業研究の成果としての卒業論文、および年度末に行われる卒業研究発表会(審査会)での結果をもとに判定する。

【オフィスアワー：授業相談】

約束を取るか、適宜、時間の空いているとき。

【学生へのメッセージ】

自己の実力を能動的に発揮でき、何のために何を学習しなければならないかが理解できるすばらしい科目である。諸君が就職する企業も卒業研究を高く評価している。3年次終わりの時期に研究室の配属調整が始まり、卒業研究を行う研究室が決定される。

【その他】

毎日、こつこつと研究室で実験を進めることができる学生に適している。